

HIOS®

電動ドライバー用電源

CLT-100・MC-70L・CLT-75・CLT-75AF

(2011年12月現在)

12A
HIOS-T 仕様
取扱説明書 No.WT-A025

ご使用の際は、電動ドライバーの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使い下さい。

<機能> ・ハイオス電動ドライバーと組み合わせて、ねじ締めを使用される電源です。

・CLT-75AFはCL-9000と組み合わせてねじ締め完了をした場合のみ出力される接点信号を付加した電源です。

AF仕様の詳細は別紙をご覧ください。

■ 設置場所について

1. 利用する商用電源には、必ず漏電ブレーカーと安全ブレーカーとを設置して下さい。
2. 適度な温度、湿度の管理された室内で使用して下さい。換気の悪い所、ホコリやチリ等の金属片がかかる所には置かないで下さい。
3. 電源の上に重い物を置いたり、重ねたりしないで下さい。
4. 設置場所は振動のない安定した場所を選び、しっかりと固定して下さい。特に高い場所に設置する場合は、落下の危険のないよう、十分に注意して下さい。
5. 高圧機器のそばやノイズの多い環境には設置しないで下さい。
6. 取り付け金具を利用して設置する電源の固定場所は、必ず安定した所に取り付けて下さい。

■ ご使用上の注意

1. 定格電圧でご使用下さい。
2. 電源を落としたり、強いショック等を与えないで下さい。
3. コード類は引きずらないで下さい。又、コードが異物や、油、鋭いエッジ等に触れないように注意して下さい。
4. 当社指定以外の使用（定格オーバー）や、他の物への電源としての使用はしないで下さい。
5. 過熱やブレーカー等の異常が発生した場合、ただちに使用を取り止め、修理に出して下さい。又、むやみに分解や改造等はしないで下さい。
6. 電源コードをコンセントから着脱する場合は、必ずプラグ部分を持って着脱して下さい。
7. 使わない時にはおもとの電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いて下さい。
8. プラス（+）、マイナス（-）の逆接続は絶対にしないで下さい。

株式会社 **ハイオス** 〒270-2223 千葉県松戸市秋山111-6
 TEL: 047-392-2000 (代)
 FAX: 047-392-7778

■ 電源とドライバーの組み合わせ表

電源機種	ドライバー制御台数	組み合わせ可能なドライバー機種	
		CL・SS・α ドライバー	CL-9000
CLT-100	2台取り	CL-2000、CL-3000、CL-4000、CL-6000、CL-6500、CL-7000、SS-2000、SS-3000、SS-4000、SS-6500、SS-7000、α-4500、α-5000	
MC-70L	多数取り	CL-2000、CL-3000、CL-4000、SS-2000、SS-3000、SS-4000は 20台まで CL-6000、CL-6500、CL-7000、SS-6500、SS-7000、α-4500、α-5000は 10台まで α-6500は 5台まで	
CLT-75			CL-9000 専用
CLT-75AF			CL-9000 専用

■ 仕様

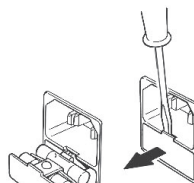
電源機種	CLT-100	MC-70L	CLT-75 CLT-75AF
一次側入力電源	AC100V ± 5% 50/60Hz		
二次側出力※	HI(2) : DC30V LOW(1) : DC20V 2段切替式	HI(2) : DC30V LOW(1) : DC20V 2段切替式	HI(2) : DC30V のみ
外観寸法 mm (W) × (D) × (H)	182 × 145 × 132(H)	320 × 220 × 153(H)	182 × 220 × 133(H)
重量	4kg	12kg	6kg
添 付 品	電源コード 1.8m (アース線付き) 各1本		
	幹線ワイヤ 20m 1組 (黒・赤) 支線ワイヤ 0.5m 10組 (黒・赤) スコッチロック #560B 20ヶ		

※二次側出力の表示についてのご注意

電源の出力表示は① CLT-100は高・低 ② MC-70L (100V仕様)はHI・LOW ③ CLT-75は表示なしですがHIのみが出力になります。
 仕様表はHI(2):DC約30V、LOW(1):DC約20Vの電圧出力を表しています。
 作業に合わせてHIまたはLOWに電圧調整して下さい。

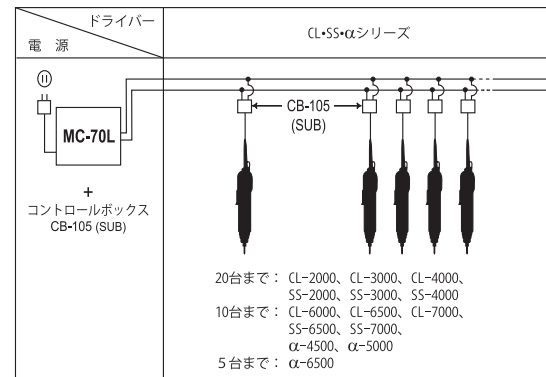
■ 電源ヒューズの交換

ヒューズが切れるとスイッチ内蔵ランプや表示LEDが点灯しません。その際は予備ヒューズと交換して下さい。ヒューズを交換してもランプ等が点灯しない時は、電源コードが断線又は破損している場合があります。直ちに使用を取り止め、弊社サービス部まで連絡して下さい。



予備ヒューズ交換

■ MC-70L とドライバー及びコントロールボックスの組み合わせ



- コントロールボックス CB-105 は、ドライバー 1台に対して 1台が必要です。
- コントロールボックスは電源とドライバーの間に接続して使用します。

■ 電源 MC-70L 配線方法

本体ケースの裏側に (+) 2個、(-) 2個の計2組の出力端子があります。これは本器を中心に前後に幹線を振り分ける時のために用意した端子ですが、一方向だけに出す場合には一組遊ばせて下さい。

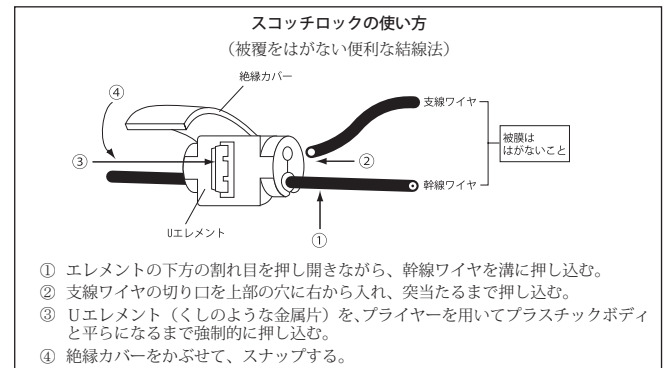
(ご注意)

1. 幹線ワイヤを出力端子につなぐ時、必ず赤線を (+)、黒線を (-) に、間違わないようにつないで下さい。
2. 幹線ワイヤ 20m (添付品) は、その長さの範囲内でご使用下さい。20m 以上長くすると電圧低下が起り、ドライバーが誤作動を起こす原因になります。

接続手順

1. 幹線ワイヤに適宜の間隔を置き、スコッチロックを使い支線ワイヤを接続します。支線ワイヤの先端端子 (雌ギボシ) に、コントロールボックス CB-105 のコード端子 (雄ギボシ) を接続します。接続の際は同じ色の線同志をつないで下さい。
2. コントロールボックスの出力コネクタに、ドライバーコードコネクタを接続して下さい。

- 幹線ワイヤに支線ワイヤを取り付けるには、スコッチロック (添付品) の使用をおすすめします。



- ① エレメントの下方の割れ目を押し開きながら、幹線ワイヤを溝に押し込む。
- ② 支線ワイヤの切り口を上部の穴に右から入れ、突当たるまで押し込む。
- ③ Uエレメント (くしのような金属片) を、プライヤーを用いてプラスチックボディと平らになるまで強制的に押し込む。
- ④ 絶縁カバーをかぶせて、スナップする。